

明治大学学部間共通総合講座「図書館活用法」の実践

- 教育学習支援機能としての図書館 -

2006.10.11 (会場:大阪大学)

明治大学図書館

飯澤文夫

2006.11.8 (会場:国立情報学研究所)

明治大学図書館副館長

広沢絵里子

1 「図書館活用法」とは(2000年度開設)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ <資料1>

- (1) 図書館リテラシーの導入教育(主に1、2年次)
- (2) 単位認定(半期13~15回、2単位)
- (3) 図書館でカリキュラム作成(コーディネータの指導)
- (4) 図書館員が出講(教員との協働)

2 図書館活用法開設の背景

- (1) 使ってもらえる図書館
 新入生ガイダンス ゼミツアー 個人ツアー 各種講習会
- (2) 使い勝手の良い図書館、(3) 行きたくなる図書館、(4) 開かれた図書館

3 開設の経緯と手続き

- (1) 経緯
 図書館スタッフ研修会(館長、副館長、図書委員、部課長、事務スタッフによる
 政策会議体)による議論
- (2) 学部間共通総合講座 - 文理の壁を越え、知の旅へ - ・・・・・・・・・・ <資料2>
- (3) 手続き
 館内: 事務部課長会 図書委員会
 学内: 学部間共通科目運営委員会 教務部委員会
 コーディネータ所属学部教授会(講師人事決定)

4 教員と図書館員の連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ <資料3、4>

- コーディネータ(副館長): 講座責任者、講師推薦、レポート課題作成、単位認定
 タスクフォース(図書館現場責任者): カリキュラム作成、シラバス執筆
 図書館講義チーム(ベテラン+若手): 講義プラン作成、活用スキル
 教員講師: 図書館・書物への誘い、論文指導

5 成績評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ <資料5>

- (1) 出席重視: 遅刻3回で欠席1回、最低7回(全13回)の出席

2006年度和泉校舎前期(3、4時限)出席率

13回	12回	11回	10回	9回	8回	7回	6回	5回	4回	3回	2回	1回	0回
37.0%	26.5%	14.8%	10.2%	5.0%	0.4%	0.7%	0.7%	0.4%	2.5%	1.1%	1.1%	0.4%	0.0%

- (2) レポート: 授業で学んだスキルを駆使

2006年度和泉校舎前期(3、4時限)成績分布

A 90~100点	B 80~89点	C 70~79	D 60~69点	F 不可	T 未受験
18%	40%	20%	10%	3%	9%

6 成果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ <資料6>

7 授業評価(FD)

学生による評価(100点満点)・・・・・・・・・・ <資料7>

年度	駿河台	和泉前期		和泉後期		生田
		3時限	4時限	3時限	4時限	
2005	82.4	65		65.3		73.1
2006	72.7	69.7	61.4			

8 課題と展望

- (1) 成果の検証
- (2) 教員との連携強化
- (3) カリキュラムの改善(導入-応用)
- (4) 授業形態の改善
- (5) 図書館員が授業を行うことの意義と問題点
- (6) ユビキタスに向けて